

部会における審議を受けて「絆を深めて支え合う防災体制づくり」の具体的な取組事項をまとめました。

取組み内容		具体的な実行方法（解決策）	
地域・区民・区民会議の取組	防災情報の発信	区役所内に防災情報コーナーを設置	●区役所1階などに防災関係のパンフレット等を集約した、防災情報コーナーを設ける。なお、設置は3月11日や防災の日（9月1日）の前後に期間を区切るなど、メリハリをつける。また、集めた情報をWeb上でも併せて集約し、区役所ホームページ上でも見られるようにする。
		区民の転入時における情報伝達	●転入手続きを行う時に、中原区の防災情報を配布する。外国籍の方には、「そなえるかわさき」（やさしいにほんご版）、「防災マップ（中原区版）」及び「やさしいにほんごきよてんりすと（なかはらく）」を配布する。
		身近な防災資器材の紹介	●公園などの身近な場所に整備されている防災資器材などを広報紙のコラムなどで紹介する。
	災害時に地域での活動を担える人材を発掘するための防災イベント実施		●災害時に地域での活動を担える人材を発掘するため、地域特性を踏まえた防災イベントを開催する。イベント内容は、災害図上訓練（DIG）や講座などを候補として検討し、時間設定は参加しやすいものとする。 実施時期は、中原区が実施する総合防災訓練の前とし、総合防災訓練の「プレイベント」のような位置づけのものとして開催する。
	防災意識の向上	中学生の防災意識向上	●中原消防署が実施する災害図上訓練（DIG）などの防災教育の成果を発信し、取組をさらに推進していく。
		子育て講演会の開催	●子育て中の母親に防災の心構えを伝えるため、防災に関する子育て講演会を開催する。
		防災紙芝居の普及	●第3期区民会議の取組として作成した防災紙芝居をさらに普及し、区内での活用を図る。
	自主防災組織の活動内容の普及		●先進的な活動をしている自主防災組織の事例を区内に広く伝える。
	大型マンションの自主防災組織結成推進		●中原区内の100戸以上のマンションのうち、町内会自治会未加入かつ自主防災組織未結成のマンションを調査する。調査結果を踏まえ、対象マンションの管理組合に自主防災組織結成に対する意向調査を行う。
	災害時に必要な情報を記すリーフレットなどの作成		●既存のリーフレットなどを活用し、災害時に必要な情報を普段から書き留めておくことができるようにする。
区民と行政の協働による取組	外国人市民の防災への理解向上		●識字学級において、「そなえるかわさき」（やさしいにほんご版）を教材として採用してもらい、外国人市民の防災への理解を深めていく。
	消防団の取組普及		●消防団の団員増へ向けて、市政だより中原区版やなかはら区民会議だよりで特集を組むなどにより、消防団の取組を広く発信する。
	区内公共施設との連携推進		●区民が区内公共施設と連携した防災訓練等を計画した時は、区役所が仲介するなどにより、区内施設と連携した取組を推進していく。
	小杉駅周辺のマンションの連携推進		●区民が自主的に連携していく取組を区役所で支援していく。
取組の行政	中原区防災連絡協議会の運営		●中原区防災連絡協議会の運営を通じて、大型集合住宅の防災や区内私立学校との連携などに取り組んでいく。